

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌



## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

| 1-1 建物概要 |                              | 1-2 外観 |           |
|----------|------------------------------|--------|-----------|
| 建物名称     | (仮称)クリアホームズ平岸4-7 B棟          | 階数     | 地上12F     |
| 建設地      | 札幌市豊平区平岸4条7丁目1番1の内、1番2、1番5の内 | 構造     | RC造       |
| 用途地域     | 近隣商業地域、準防火地域                 | 平均居住人員 | 66人       |
| 気候区分     | 1地域                          | 年間使用時間 | 8,760時間/年 |
| 建物用途     | 集合住宅                         | 評価の段階  | 実施設計段階評価  |
| 竣工年      | 2017年3月 予定                   | 評価の実施日 | 2016年8月1日 |
| 敷地面積     | 606㎡                         | 作成者    |           |
| 建築面積     | 236㎡                         | 確認日    |           |
| 延床面積     | 2,281㎡                       | 確認者    |           |

「配慮シート」に外観パースを張り付けて下さい。

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

### 3 設計上の配慮事項

|  |  |   |
|--|--|---|
| <p><b>総合</b></p> <p>平岸街道に面し、地下鉄出入口からも近い立地のことから、近隣の建物と調和のとれ、スタイリッシュなファサードとした。</p> <p>角地の部分をセットバックさせ、シンボルツリーで近隣のにぎわいを確保できるものとした。</p> | <p><b>A 省エネルギー</b></p> <p>性能評価4等級を確保し省エネルギーに配慮し、給水器具は節水可能な機器を選定した。</p>                         | <p><b>D 雪処理</b></p> <p>敷地内の駐車場や歩行範囲のロードヒーティングを完備し、敷地外への雪害の対策をとった。</p> |
| <p><b>B 省資源等</b></p> <p>できる限りの再生可能な建材を選定した。</p>  | <p><b>C 緑化</b></p> <p>現状変更行為(緑化申請)の対象外敷地ではあるが、メインエントランスにシンボルツリーの確保とともに、道路際には植栽を設け街並みに配慮した。</p> |   |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される